



秋冷候先以

尊兄遠以清勝為國家

述之新田岡組織（おちか）以東法殿

面目と一新すは時機

四部多輝一岡種（のき）

茅も可有十三儀者（のり）

お通り抑お市（のり）此

察きた外（のり）以律者問題

み露國提出のよお後朝

難字（のり）の東事一東洋

問題の錯綜せる高りて法

廷次第の變動（のり）玉雨多因

の如何は依りては物来（のり）る容易取

皆を醜（のり）一或復（のり）葉露の

の衝突といふ起すことなまや

其間我國の關係言々（のり）好か

成程の結核せる當りて清  
廷と其の交動主玉雷多因  
の如何の依りては物来り容易  
當と醜一或復々葉露の  
の衝突といふ起すいふは  
其間我國の關係を言はれ  
さる事いふはあはれ

百といふ御玉質といふ

竊據を勞せしめしめし御事  
を察ししめし内外多事といふ  
今の急攻を謂ふ詞といふ  
此の場をいふ能くといふ  
儂に、いふ事、いふ事、いふ事  
能くといふ事、いふ事、いふ事  
いふ事、いふ事、いふ事、いふ事  
いふ事、いふ事、いふ事、いふ事

十月廿八日  
燈

直林

大隈吉良



東京永田町二丁目十二番地官舎  
大隈重信殿  
要親展



緘



佐

賀縣

鹿島中川

錫

島直

林